



平成20年2月26日

各位

会社名 ゼネラルパッカー株式会社
代表者名 代表取締役社長 梅森 輝信
(JASDAQ・コード6267)
問い合わせ先 取締役管理部長 小関 幸太郎
電話番号 0568(23)3111(代表)

平成20年7月期中間(非連結)業績予想との差異に関するお知らせ

平成20年7月期中間(平成19年8月1日~平成20年1月31日)の業績予想について、平成19年11月28日付当社「平成20年7月期第1四半期財務・業績の概況(非連結)」にて発表いたしました業績予想を下記の通り修正いたします。

記

1. 平成20年7月期中間業績予想の修正(平成19年8月1日~平成20年1月31日)

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益
前回発表予想(A) (平成19年11月28日発表)	1,400	△100	△95	△57
今回修正予想(B)	1,515	△33	△28	△26
増減額(B-A)	115	66	66	30
増減率(%)	8.2	—	—	—
(ご参考) 前期実績(平成19年1月中間期)	2,082	109	112	68

2. 修正理由

売上高につきましては、包装機で売上計上月を前倒しできた実績が得られたことと、包装関連機器等及び保守消耗部品その他の受注が増加したことから、前回発表予想より115百万円増加し、1,515百万円となる見込みであります。

営業利益につきましては、売上高が増加したことと、販売費及び一般管理費が計画より抑制できたことから、前回発表予想より損失が66百万円減少し、△33百万円となる見込みであります。

また、営業損失の減少に伴い、経常利益と中間純利益につきましても、前回発表予想より損失が減少し、経常利益で△28百万円、中間純利益で△26百万円となる見込みであります。

3. 平成20年7月期通期業績予想について（平成19年8月1日～平成20年7月31日）

通期の業績予想につきましては、当期の計画では下半期の業績への依存度が高く、営業利益率の増減などの不確定な要素がまだ多く残っている状況であります。

このため、上記の通り中間業績予想は修正いたしますが、通期の業績予想につきましては、平成19年11月28日付当社「平成20年7月期第1四半期財務・業績の概況（非連結）」に記載の予想と変更はありません。

<ご参考>平成20年7月期の業績予想（平成19年8月1日～平成20年7月31日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
予 想 (平成19年11月28日発表)	4,200	224	230	127
前 期 実 績 (平成19年7月期)	4,074	211	213	118

なお、中間業績及び通期業績予想の詳細につきましては、中間決算発表時（3月6日予定）に公表する予定であります。

（注）上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

以上